



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
(URL) <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

各 位

2007年10月12日

2007年度 工場見学来場者1万人達成記念セミナー開催

北海道コカ・コーラボトリング株式会社(本社:札幌市清田区 社長:角野中原)は、当社札幌工場で実施している工場見学ツアーの2007年度の来場者数が1万人を達成することを記念し、10月15日(月)に「2007年度 工場見学来場者1万人達成記念セミナー」を実施し、入場1万人目となるお客様に記念品(コカ・コーラ社製品1年分)の贈呈を行います。

「北海道コカ・コーラボトリング株式会社」が昭和38年に札幌市清田区に設立されて以来、工場見学を実施しておりますが、現在までの累計工場見学来場者数は約50万人を超えております。また、2007年5月には、来場されるお客様に更に満足していただけるように工場見学コースをリニューアルし、たくさんのお客様に足を運んでいただいております。

このセミナーでは、当社製品のキャラクターであるQoo(クー)からの記念品贈呈などを開催いたしますので、ここにお知らせ致します。

【2007年度 工場見学来場者1万人達成記念セミナー 概要】

日程： 2007年10月15日(月) 14時00分 ~ 14時15分

場所： 北海道コカ・コーラボトリング株式会社 本社ビル1階
わくわくコミュニケーションルーム
(札幌市清田区清田1条1丁目2番1号)

内容： 北海道コカ・コーラボトリング株式会社 取締役 森川 浩志 挨拶
キャラクターQoo(クー)による記念品贈呈式

【北海道コカ・コーラボトリング株式会社 札幌工場 概要】

札幌工場では、缶・ペットボトル・紙パックなどのパッケージの種類により5種類のラインに分かれており、それぞれの製品を作っています。工場見学時には、1分間に最大1300缶のコーヒー・お茶飲料を充填することができる第3ラインを公開しています。



2003年には、無菌でペットボトルに充填するアセプティックラインの生産設備が完成し、コーヒー・お茶・スポーツ飲料などのペットボトルの商品を製造しています。

無菌充填は、従来の熱処理で殺菌する方法と比べ、「より美味しく」を追求するための製造方法として業界では活発な導入が図られています。北海道の飲料業界において、この小型PETの無菌充填ラインを設備しているのは札幌工場だけとなります。

また、製品に使用するPETボトルは、自社で炭酸製品用PETボトルの成形を可能にすることにより、ボトルの輸送効率を高め、使用するトラックを減らすことで、二酸化炭素排出量を削減しています。



2002年11月に本格稼動した「大型立体自動倉庫」は、最大200万ケース収容できる国内のコカ・コーラボトラー最大規模の倉庫です。約2万棚を有する横約100メートル、奥行き約80メートル、高さ約31メートルの倉庫棟と荷捌き棟からなる設備となっています。

生産ラインからケースコンベアで製品を搬送した後のパレットへの積み付け、異なるパレットへの積み替え、ケース単位保管設備、生産日及び賞味期限の自動管理、ラック誘導システム等からなっています。



さらに札幌工場で利用している水は、札幌市の災害応急用協力井戸として指定されており、各ラインに合わせて1,158トンの水を貯蔵しています。これは2リットルのペットボトルに換算すると57万9000本になります。災害時にはこの水を皆さんに提供することができます。

2001年11月には、工場で排出される全ての廃棄物を再資源化する「ゼロエミッション」を達成しました。一例として、コーヒーやお茶のかすは肥料へ、PETボトルは当社社員のユニフォームなどに再利用しております。環境に優しく、人々に愛される企業を目指しております。

< 本件に関するお問い合わせ先 >

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・CSR推進部 広報課

011-888-2091